

矢作川水源の森 木づかいシンポジウム

水源の森保全のための

木づかいネットワークづくり



森の国、日本。そして森から生まれる豊かな水。私達は森からたくさんの恵みを受けて暮らしています。ところが、今の日本には元気のない森林が増えています。

「愛・地球博」のテーマは「自然の叡智」。もっとも身近で自然の代表である森林を元気にし、木材利用による循環型の社会を構築するため、矢作川流域をモデルとした木材の活用を進めましょう。そのために、私達市民ができることの1つが「水源の森の木を使う」活動です。皆様と一緒に積極的に木をつかっていくための仕組みやネットワークをつくっていきたく考えています。

日時：2005年3月12日(土) 13:30~16:30(13:00開場)

場所：高橋コミュニティセンター 大会議室 東山町 2-1-1 TEL0565-80-0077
...名鉄バス東山住宅路線、加茂川公園下車、徒歩5分

申込み方法：ハガキ、FAX、Eメールで申込みください。(参加費無料)
...住所、氏名、電話番号を書いてください。

申込み・問合せ先：豊田市役所 農林課 〒471-8501 豊田市西町 3-60
Eメール nourin@city.toyota.aichi.jp TEL 0565-34-6640 FAX 0565-33-8149

基調講演(報告)...関原 剛(協同組合ウッドワーク、CCDP 代表理事)

「上越地域の木材の利活用、森林資源の保全を目指した木づかいネットワーク」

NPO法人 木と遊ぶ研究所、協同組合ウッドワーク、ウッドストック協同組合、森林NPO 植林針葉樹産地認証協議会(CCDP)など、新潟の上越地域を中心に、健全な森林を守り育てるため、地域材の利活用を通じ、理想に向かって次々と斬新な試みを実現させている。地域の木材をつかう循環ネットワークづくり、今、まさに進行中の熱い潮流を語る。

シンポジウム...「現代の木づかいネットワーク」

「水源の森間伐材デザインコンテスト」及び「木遣いセミナー」等の本プロジェクトの成果とこれから継承する木づかいの方向を問う。

パネラー

- ・原田 敏之(NPO 法人 穂の国森づくりの会)
「豊川流域を一体とした森づくり、地域づくり」
- ・丹羽 健司(矢作川水系森林ボランティア協議会)
「山主とボランティアとの交流学習コーディネーター」
- ・碓 伸夫(木づかい市民ネットワーク代表、本プロジェクト実行委員長)
「森を想い、木をつかう市民応援団づくり」

コーディネーター

大江 忍(NPO 法人緑の列島ネットワーク理事長)

木づかい展示会

- ・森づくりグループ、木づかいグループ、関連する企業、行政、団体の展示コーナー



主催：2005年愛知万博豊田地区推進協議会、豊田市
主管：矢作川水源の森 間伐材利用プロジェクト実行委員会

基調講演.....関原 剛(協同組合ウッドワーク、CCDP 代表理事)



あっと！ほーむタウンとよた
循環型社会プロジェクト
愛・地球博パートナーシップ事業
愛・地球博地域連携プロジェクト事業

・ **ウッドストック協同組合(上越市)**

地域材の利活用をはかり、地域林産業及び木材加工業の活性化、森林資源の保全を目的とした異業種協同組合。原木から資材品、構造材、内装材、建具、家具にいたるまですべての需要に応じる。

植林、保育、伐採を行う素材生産業者から、製材業、木工業、地域材利用のすべての過程の事業者が参加し地域材の伐採、加工、製品製造、製品開発、販売、広告を共同で行うことを目的としている。

ウッドストックの原木は、すべて森林 NPO による産地チェックにより、原産地証明が行われている。

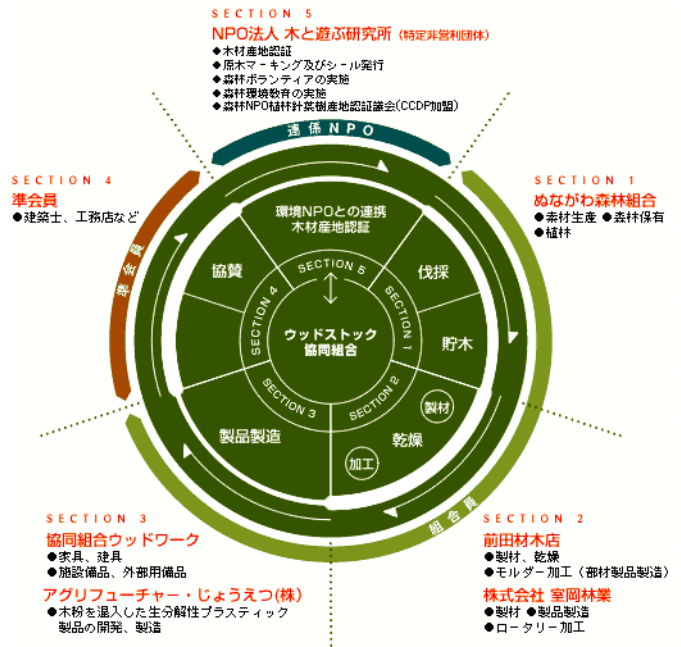
・ **協同組合ウッドワーク(上越市)**

森を再生することを目的としてスギ、ヒノキの間伐材だけを使った魅力的な木製品を設計出荷している。製品の売上げの一部は、環境基金として苗木や森林ボランティア、森林再生研究として各々の森へ還元される。

・ **NPO 法人 木と遊ぶ研究所(上越市)**

森林ボランティア活動や、森林に関する調査、木工教室、環境教育を通して森林・環境保全に寄与することを目的とする。この地域のしくみをつくる企画部門。

ウッドストック協同組合チャート



・ **森林 NPO 植林針葉樹産地認証協議会 (CCDP)**

CCDP は材の産地証明について、各地で活動する森林 NPO が第三者の認証者となり、循環型森林活用を図っていく新しいシステム。認証の方法は、NPO が山で集材木口にマーキングし、製材所の土場で見るという至ってシンプルなもの。



原田 敏之(NPO 法人 穂の国森づくりの会)

私たちは、奥三河の山、豊川を中心にした河川、そして三河湾という「流域」を一つの単位として、新しい環境型社会のシステムづくりに挑戦していきたいと思っています。そのことが同時に、森と共に生き、森の中で生活文化を形づくってきた先人の伝統に新しい光を当て、地域社会の誇りと活力を復興する社会活動に結びつくことを願っています。

現在、「森の再生」をテーマに**穂の国森林祭2005**を実施中です。これは、この新しい「自然との取り組み」を日本と世界の人々に伝え、皆さんを「森の住民」の一員としてお招きするお手伝いをしてまいります。森林祭という舞台で、森に関する展示や討論、交流、体験、コンベンション、さらには東三河地域を舞台とした文化活動や教育活動、観光、スポーツなどを行うことによって、森から流れる川の「上流・下流」はもちろんの事、国境を越え「森の恵みを活かし、資源や文化や人びととの思い」を循環させて「あなたの心の森」を後世に伝えていきませんか？

丹羽 健司(矢作川水系森林ボランティア協議会)

矢作川水系で活動する一定レベル以上の森林ボランティアグループで構成され、レベル向上と流域の豊かな森づくりを目指して04年1月に結成された。意識・知識・技術とも急速にレベルアップしている森林ボランティアと、気持ちはあっても知識や技術の伴わない放置山林所有者とが交流することにより、間伐と森づくりのノウハウを学習実践する機会をコーディネートする事業を中心に、それぞれの自主的な活動を尊重しつつ、地域での森林ボランティアグループの育成強化を目指しています。